事業番号	07　04　15

事業改善シート（28年度実施事業分）

□予算要求　□当初予算案　□補正予算案　■点検

事業名	食品産業技術高度化推進事業費	担当課	部局	産業労働部
			課・局・室	ものづくり振興課
			E-mail	mono@pref.nagano.lg.jp
			実施期間	H20　～

総合5か年計画		
	プロジェクト	1－1－1　次世代産業創出
	施策の総合的展開	1－1　信州をけん引するものづくり産業の振興 1　成長産業の創出
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	
	施策展開	3－(1)　経済構造の転換

1　事業の概要

目指す姿	県内食品産業の各メーカーが品評会を通じて、食品の品質等を競い合うことにより、技術改善や新技術・新製品開発が促進され、食品産業が発展することを目指す。
現状（予算編成時）	○食品産業は、消費者のライフスタイル・嗜好の多様化、原材料価格の高騰等により厳しい経営環境にある。 ＜食品製造業の製造品出荷額等の推移（参考：県工業統計調査）＞【H21】6,510億円　→　【H24】6,389億円 ○安心・安全で高品質な食品の需要は高まっている。
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施：実施は困難 【左記の説明、根拠法令等】 品評会へ出品された食品に対して公正・厳正な審査会を実施し、優秀な成績を修めた者への表彰には県の関与が必要である。

成果目標・事業内容

① 成果目標（H28）

各分野の食品（清酒、みそ、そば、豆腐など）の品評会を開催し、品質等の向上を図る。
品評会参加事業者数：150者（各分野の組合参加事業者数の50%）

② 事業内容　（単位：千円）

項目	実施方法	H28事業実績	H28（当初）	H28（決算）	H29（当初）
品評会等開催支援	直接	本県を代表する食品（清酒・みそ・そば・豆腐など）について関係団体と共催で品評会を実施する。	2,015	1,733	1,989
		合計	2,015	1,733	1,989

事業コスト 区分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度
予算額	前年度繰越			
	当初予算	2,091	2,015	1,989
	補正予算			
	合計（A）	2,091	2,015	1,989
Aの財源	一般財源	2,091	2,015	1,989
	県債			
	国庫支出金			
	その他	0	0	0
決算額（B）		1,510	1,733	
概算人件費	職員数（人）	0.07	0.07	0.07
	概算人件費（C）	579	554	554
概算事業費（B(A)+C）		2,089	2,287	2,543

成果目標の達成状況

項目	H26末	H27末	H28 目標	H28 成果	H28 達成状況	H29 目標
品評会参加事業者数	151	152	150	153	達成	150

目標に対する成果の状況	関係団体と連携しイベントを開催するなどPRを実施することにより、目標どおり品評会を開催できた。

2　今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	□ 事業を実施しない　□ 事業を見直して実施　■ 事業を現行どおり実施 引き続き、品評会の開催により、食品産業の技術高度化を図る。